

日本共産党市会速報

NO.117号

2010年 12月9日
発行 日本共産党摂津市会議員団
☎06(6383)1111
072(638)0007
内線 3344~3346
メール info@setsu.jcp-web.net

2010年第4回定例市議会開催(11月30日~12月15日)

12月議会は人事院勧告を受けての賃金の改定、決算後の調整金の確定のほか、来年度の制度変更の提案が行われます。国政では臨時国会で民主党と自民党の中傷合戦に国民の批判がよせられ、政府の支持率も最低を更新しています。一刻も早く不況の脱出を、地方議会・地方議員が、住民とともに、住民のくらしと福祉のために力をつくすべきです。

日本共産党市会議員団は、予算要望懇談会などで寄せられた願いに答えられるようにがんばります。

【十四、十五日、一般質問】

- 安藤かおる議員(四番)
就学援助金制度。子育て支援。公共施設の配置とアクセスについて。
- 山本やすいち議員(六番)
ごみの収集業務の民間委託について
- 山崎まさかず議員(八番)
国保広域化。住宅リフォーム助成。
- ひろ豊議員(一〇番)
南千里丘開発による影響。交通安全対策。

◎2009年度各会計の決算認定

11月30日、第4回定例会初日、2009年度の各会計の決算にたいして、議員団を代表してひろ豊議員が反対の討論を行いました。

09年度は、13年ぶりに全ての公共料金が値上げを見送り据え置き。各制度拡充を予算化したことは評価するが、市民負担を増やし、サービス切り捨ての第4次行財政改革に反対をする。第1次から第3次までの12年間で、総額161億円の市民負担を増やし、計60億円近くを投入する「2つの開発計画」を推進してきた。

決算で示された「府下トップの財政力」を活かし、自治体本来の仕事である

「市民のくらし・福祉・教育を支える政治」を推進せよ。と迫りました。
※全文は議員団のホームページをご覧ください。

◎人事院勧告による職員給与削減の補正予算

市長・議員など特別職の削減には賛成しつつ、「12年続くマイナスは地域経済にも悪影響と反対」山崎まさかず議員が討論を行いました。

◎「第4次総合計画基本構想」についての採決

今回の第4次総合計画基本構想は、2011年から10年後の摂津市のまちづくりについて、その方針を定める市政の柱になる計画です。

第3回定例会で「総合計画基本構想審査特別委員会」がつけられ、10月11月にかけて4回の委員会が開かれました。日本共産党市会議員団からは野口博議員が委員として参加し、計画策定までのプロセスとして取り組まれた市民アンケートやまちづくり市民会議で出された意見とこれまで寄せられてきた市

民の声を伝えると同時に、計画を実行するにあたって、市が進めている「第4次行財政改革」が市民サービスや職員体制の削減など盛り込んでいることなども指摘をし、改善を求めてきました。

【今議会で審議される主な案件】

- ・清算、指定管理者の債務負担行為を含む補正予算
- ・公の施設の委託先(指定管理者)を3年延長
- ・現在直営の図書館の運営を指定管理者へ委託(株)日本図書館流通センター)へ
- ・摂津市文化財保護条例の制定
- ・庁内機構改革(13部、57課を51課に)
- ・扶養控除改定による市税条例の改定
- ・スポーツセンター条例(旧味舌、三宅小学校跡地)の3年延長
- ・コミュニティプラザでカラオケ設備導入、三千円で貸出
- ・駅前自転車駐車場増設と時間延長
- ・放置自転車の撤去範囲を拡大
- ・市営住宅建設に伴う北側道路のとりつけに関する請願

【4件の意見書を提出】

- ・11月30日、以下の4件の意見書(案)を提出しました。12月9日の議会運営委員会で審議されます。
- ・保育制度改革に関する意見書
- ・TPP交渉参加に関する意見書
- ・国保広域化に反対する意見書
- ・府の制度融資見直し撤回意見書

日本共産党 5人の議員団



野口 ひろし

☎〇七二(六三四)〇八〇七



山本 やすいち

☎〇六(六三四九)三三九七



安藤 かおる

☎〇七二(六五三)〇七一五



山崎 まさかず

☎〇六(六三八)七一六五



ひろ豊

☎〇六(六三八二)六三〇一